

事業所工賃向上計画(令和6年度～令和8年度)

作成日: 令和6年4月30日

1. 事業所の概要

運営法人名称	社会福祉法人 さくらの花		
法人代表者職・氏名	理事長 松下 香織		
事業所名	たけはら村		
施設長名	長井 輝人		
サービス種類等 (プルダウンで選択)	就労継続支援B型事業所		
事業所 所在地等	509-2313 岐阜県下呂市野尻873番地2		
	電話 0576-26-0048	FAX 0576-26-2848	
	E-mail takeharamura@sakuranohana.or.jp	担当者 熊崎 高信	
法人本部	509--2313 岐阜県下呂市野尻873番地2		
	電話 0576-26-0048	FAX 0576-26-2848	
	E-mail honbu@sakuranohana.or.jp	担当者 熊崎 高信	
定員数 (令和6年4月)	20 名	現員数 (令和6年4月)	15 名
施設の特徴	施設外就労を主体として、高い工賃を得られる。多岐にわたる業務の中から、利用者ごとに適した業務を提供している。本人の意向や能力に合わせた仕事の選択肢を提供することにより、将来への可能性を啓発している。スタッフ全員が同じ方向性で支援にかかわっている。		
主要作業の内容	・銅線選別作業 ・廃棄物性医療ボックスへのシール貼り ・工場ライン作業での部品の加工・取付 ・地方独立行政法人の医師住宅清掃・医師住宅外階段清掃 ・廃棄物の選別作業 ・トイレトーパーの箱詰め・個別包装(自主製品として販売) ・家電解体 ・蚕飼育、桑畑整備等		

2. 目標工賃月額の設定

【実績額と目標工賃月額】

各年度の目標工賃額は前年度の額以上としてください。

	実績額	目標工賃額		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年間売上高(①)	18,118,359円	18,200,000円	18,300,000円	18,400,000円
工賃支払総額(②)	8,243,309円	8,500,000円	8,600,000円	8,700,000円
年間述べ利用者数(a)※1	2,750人	2,800人	2,850人	2,860人
年間開所日数(b)	257日	255日	256日	257日
開所日1日当たりの平均利用者数(③)(a/b)※2	10.7人	11.0人	11.1人	11.1人
年間開所月数(④)	12月	12月	12月	12月
平均工賃月額(②/③/④)※3	64,200円	64,394円	64,565円	65,315円

※1 各日の利用者数の総数を入力してください。

※2 小数点第2位以下は四捨五入してください。

※3 円未満は四捨五入してください。

3. 工賃向上に向けた取組方針

これまでの目標工賃の達成状況に対する評価・課題・分析	(これまでの取り組み・工夫・強み) 自主製品を製作する等の取り組みは簡易的なものにとどまっているが、地元企業の協力のもと施設外就労／施設外支援に積極的に取り組むことにより、高い工賃水準を得ることができた。 (課題の分析) 自主製品や事業所内での作業が少ないため、施設外就労に出ることが難しい利用者の仕事の確保が課題である。
工賃向上の取組方針	施設外就労先に対する受け入れ継続の依頼及び新しい施設外就労先の開拓を実施する。併せて自主製品の開発に向け試作等に取り組み、販路拡大のための活動も行う。施設内作業でも収入を確保できる努力をする。

令和6年度から3か年の具体的な取組方針(年度別)

令和6年度	昨年に引き続き、指導員のスキルアップを図ることにより利用者への指導に対する資質向上に努める。イベント等の開催により、障がい者福祉への地元住民及び企業に関心を促す。事業所間及び関係各所とのネットワークを強化し情報の発信・情報の共有を図る。
令和7年度	前期の実績を踏まえて、商品のクオリティーアップを図る。事業所間及び関係各所とのネットワークを強化し、情報の発信・情報の共有を図る。地元企業への施設外就労先も順次開拓していく。
令和8年度	前期の実績を踏まえて、商品のクオリティーアップを図る。(施設内で出来る内職の内容や自主製品の作成も再検討し模索してみる。) 法人の理念等をイメージアップにつなげ、地元への事業所開放を行い、住民の皆さんからの情報発信・意見やアイデアを頂く。また、理解者・協力者として、障がい者支援にご協力いただけるよう働きかけていく。

4. 主要作業の現状と今後の取組

作業の区分	請負		
具体的作業名	家電解体・感染性廃棄用医療ボックスへのシール貼り作業・銅線選別 等		
作業内容、特徴	<p>(作業内容) 家電解体作業: 各種道具を使用し、小型家電等をバラし細分化する。 銅線選別: 電線等を切断し剥線機に通し、被服と銅とに選別している。 シール貼り作業: 感染性廃棄用医療ボックスシールの所定位置にバイオハザードマークのシールを貼る。</p> <p>(特徴) 家電解体作業: 座ってできる作業であるが、道具を使用するため一定の判断能力等が必要となる。 銅線選別: 切断機・剥線機の貸与を受けて行っている。座ってできる仕事の一つであり、立って作業することが難しい・体力があまりない利用者でも取り組むことができる。 シール貼り作業: 利用者が安全に行うことができ、作業工程も単純であることから誰でも取り組みやすい業務である。</p>		
年間売上額	2,500,000 円	従事する利用者数	7 名
現状分析・課題	<p>(これまでの取組・工夫・強み) 指導員自身が多種の業務内容を理解し、指導できるだけの知識を得られるよう会議等を重ねている。それにより、作業効率のアップを図ってきた。協力企業のもと年間を通して多種の業務を得られていることが一番の強みである。</p> <p>(課題の分析) 銅線の選別はいつでもできる点が強みだが、このままでは工賃の向上は見込めない。いかにして生産量を増やしていくか、利用者とともに考える必要がある。</p>		
課題を踏まえた目標・方針	<p>(課題を踏まえて令和8年度までに目指す姿) 現在この現場を主としている利用者も施設外で就労できる場を増やすため、地域企業へのアプローチを続ける。その切れ目や労務の提供が少ない時、また外部就労が難しい利用者に取り組む業務として、さらなる効率化を目指し指導していく。</p>		
目標達成に向けた方針・具体的取組	<p>令和6年度到達目標 作業手順の確立及び安全対策への意識高揚を目指す。 (方針・具体的な取組) 指導員、利用者との話し合いの場を設定、作業の内容を見直す。</p>		
	<p>令和7年度到達目標 指導員、利用者とも銅線の一連の作業に慣れ、怪我無くこなせるようにしていく。 (方針・具体的な取組) 指導員、利用者への技術指導、剥けない線の選別等の指導と、利用者への効率の良い選別方法を指導する。</p>		
	<p>令和8年度到達目標 効率の良い銅線を選別し、銅の量を確保できる作業へと向上させていく。 (方針・具体的な取組) 指導員、利用者への電線での剥ける、剥けない線の選別の徹底を行う。銅の選別も徹底し、より高い買取を目指す。</p>		

【関係資料】

- ・施設のパンフレット・自主製品の紹介資料
- ・工賃向上計画の内容を説明する補足資料(収支決算書等、必要に応じて添付)

作業の区分	請負		
具体的作業名	下呂市クリーンセンター受付窓口業務		
作業内容、特徴	<p>(作業内容) 下呂市クリーンセンター受付窓口業務(接客・パソコン入力・レジでの現金受け取り)</p> <p>(特徴) 冷暖房完備の施設で座って行う作業のため、体力が少なくても取り組むことができる業務である。パソコン操作ができること、コミュニケーションが取れることが最低条件となる。</p>		
年間売上額	2,000,000 円	従事する利用者数	1 名
現状分析・課題	<p>(これまでの取組・工夫・強み) コミュニケーションが大切な現場であるため、指導員はその点を重点的にサポートしている。パソコン操作については根気よく教える必要があり、利用者と相談しながら分かりやすい掲示等にも取り組んでいる。身につくには一定の期間を要するが、安定して取り組むことができれば高工賃となる業務であることが強み。</p> <p>(課題の分析) 業務を行う能力のある利用者確保が課題である。指導のノウハウは蓄積できている。</p>		
課題を踏まえた目標・方針	(課題を踏まえて令和8年度までに目指す姿) 早期に交代要員の確保を目指し、利用者さんの負担の軽減を図る。		
目標達成に向けた方針・具体的取組	令和6年度到達目標 作業手順の確立と指導体制の充実及び就労者の確保。		
	令和7年度到達目標 作業手順の確立と指導体制の充実。		
	令和8年度到達目標 作業手順の確立と指導体制の充実。		

【関係資料】

- ・施設のパンフレット・自主製品の紹介資料
- ・工賃向上計画の内容を説明する補足資料(収支決算書等、必要に応じて添付)

作業の区分	請負		
具体的作業名	独立行政法人下呂温泉病院の医師住宅清掃、医師住宅外階段清掃		
作業内容、特徴	<p>(作業内容) 依頼先から指定された日に医師住宅の室内清掃を行う。(床、キッチン、トイレ等) 週1回で月4か所の医師住宅の外階段の清掃を行っている。(足場、手すり、電球等)</p> <p>(特徴) 公共団体から仕事の依頼を頂き、清掃業務にあたっている。利益率の非常に高い仕事である。多少の体力と丁寧さが必要な作業となるため、利用者の得意不得意が分かれる。</p>		
年間売上額	2,410,000 円	従事する利用者数	6 名
現状分析・課題	<p>(これまでの取組・工夫・強み) 以前はA型就労継続支援で行っていた業務であるが、B型でも取り組みを進めた。指導員と4～5人の利用者が共に業務に向かい、問題なく行えている。慣れてきた利用者もあり、以前より早く完了することができるようになった。</p> <p>(課題の分析) 現在特に課題はなく、これからも丁寧に清掃を行い継続できるよう努める。</p>		
課題を踏まえた目標・方針	(課題を踏まえて令和8年度までに目指す姿) クレームの無いよう丁寧に作業を行い、継続できるよう努める。		
目標達成に向けた方針・具体的取組	令和6年度到達目標		
	クレームの無いよう丁寧に作業を行い、継続して仕事を依頼して頂けるよう努める。作業手順の確立及び安全対策への意識高揚を目指す。 (方針・具体的な取組) 指導員、利用者との話し合いの場を設定、作業の内容を見直す。		
	令和7年度到達目標		
	色々な依頼に対応することにより、継続した作業契約を頂けるよう努める。 (方針・具体的な取組) 部屋数の増減、時間指定等にも対応させていただき、信頼を得る。		
目標達成に向けた方針・具体的取組	令和8年度到達目標		
	色々な依頼に対応すること及び、丁寧に作業を行うことにより、契約した作業契約を頂けるよう努める。 (方針・具体的な取組) 作業手順の確立を目指し、誰が対応しても同じことができるQCを取得する。		

【関係資料】

- ・施設のパンフレット・自主製品の紹介資料
- ・工賃向上計画の内容を説明する補足資料(収支決算書等、必要に応じて添付)

作業の区分	自主製品		
具体的作業名	トイレトペーパー箱詰め、紙巻き作業		
作業内容、特徴	<p>(作業内容) トイレトペーパーの注文を受け、利用者さんが自主製品の箱詰め、紙巻き作業を行う。</p> <p>(特徴) 清潔で座ってできる軽作業である。</p>		
年間売上額	100,000 円	従事する利用者数	6 名
現状分析・課題	<p>(これまでの取組・工夫・強み) トイレトペーパーの箱の注文を頂き、試行錯誤しながら完成させた。座ってできるため、身障者や体力に不安がある利用者でもできる作業である。</p> <p>(課題の分析) 特に課題はなく、これからも継続できるよう努める。</p>		
課題を踏まえた目標・方針	<p>(課題を踏まえて令和8年度までに目指す姿) 紙巻きトイレトペーパーの販路拡大を目指す。作業効率の向上に取り組む。</p>		
目標達成に向けた方針・具体的取組	<p>令和6年度到達目標 障がい者優先調達法も視野に入れながら販路を広げ、販売目標2,000個とする。 (方針・具体的な取組) 紙巻きトイレトペーパーを優先的に作成する。行政機関等を中心に販路を探していく。</p>		
	<p>令和7年度到達目標 各イベントなどで商品を紹介する。販売目標2,300個とする。 (方針・具体的な取組) 各イベントに参加・出店やチラシなどを利用し、商品への理解・啓蒙を行う。</p>		
	<p>令和8年度到達目標 各イベントなどで、商品の紹介を図る。販売目標2,600個とする。 (方針・具体的な取組) 各イベントに参加・出店やチラシなどを利用し、商品への理解・啓蒙を行う。</p>		

作業の区分	その他		
具体的作業名	企業での施設外就労		
作業内容、特徴	<p>(作業内容) アルミ製品制作会社でのマスキングテープ貼り・シリコン充填など。</p> <p>(特徴) 障がい者に理解を示し協力を申し出てくれた企業であり、指導員と共に就労を受け入れてもらっている。細かい作業であるため、手先が器用な利用者が合う。力がある作業もあるため、一定の体力も必要である。</p>		
年間売上額	1,678,000 円	従事する利用者数	2 名
現状分析・課題	<p>(これまでの取組・工夫・強み) 企業回りを行い、障がい者の就労を受け入れてくれる企業を探し、協力をして頂けることになった。指導員と共に就労することで不良品の無いようチェックを行うなどし、滞りなく作業が行える環境をつくっている。企業の担当者との連携も行えていることが強み。</p> <p>(課題の分析) いつまで就労させて頂けるかは不明である。利用者一人では通勤が難しい場所である。精密な物品を扱うため、指導員と一緒にないと就労は難しい。</p>		
課題を踏まえた目標・方針	<p>(課題を踏まえて令和8年度までに目指す姿) 末永く協力して頂けるよう、相手企業のお話を伺い、戦力となれる作業を提供できるよう指導員と支援していく。社内標準化を目指す企業であるためその理念を指導員・利用者ともに理解をする。また、障がい者雇用のモデルを確立してみようとしてみえる企業であるため、依頼があれば協力を惜しまない。</p>		
目標達成に向けた方針・具体的取組	<p>令和6年度到達目標</p> <p>就労を継続させていただけるよう、丁寧な作業を心掛ける。 (方針・具体的な取組) 企業様の意見を参考に、戦力として頂けるような就労を心掛ける。予習復習等に取り組み、課題があれば企業の担当者とともに解決を図る。</p>		
	<p>令和7年度到達目標</p> <p>企業様の運営理念を理解し、就労に取り組む。 (方針・具体的な取組) 作業内容の標準化に順応し、安全対策にも留意する。予習復習等に取り組み、課題があれば企業の担当者とともに解決を図る。</p>		
	<p>令和8年度到達目標</p> <p>障がい者の雇用を評価してもらい、雇用者を増員してもらえよう努力する。 (方針・具体的な取組) ラインでの作業を指示なしでも任せられるように、作業の専門性を習得する。予習復習等に取り組み、課題があれば企業の担当者とともに解決を図る。</p>		

作業の区分	その他		
具体的作業名	廃棄物などの選別作業		
作業内容、特徴	<p>(作業内容) 古米の選別作業。(米とその他のもので選別する)</p> <p>(特徴) ふるいを使用し、立って行う作業である。一定の判断力が必要であり、立ち仕事が多い利用者には不向きとなる。企業から依頼があった際に対応できる利用者が就労させて頂いている。</p>		
年間売上額	1,678,000 円	従事する利用者数	2 名
現状分析・課題	<p>(これまでの取組・工夫・強み) 道具の使い方を丁寧に指導し、作業の効率化を目指している。慣れが必要な作業となっているため、根気よく指導を行っている。</p> <p>(課題の分析) 対応できる指導員が不足しているため、指導員の養成を行っていく必要がある。</p>		
課題を踏まえた目標・方針	<p>(課題を踏まえて令和8年度までに目指す姿) 道具の使い方を身につけ、安全に一定量の作業を完了できるようにする。</p>		
目標達成に向けた方針・具体的取組	<p>令和6年度到達目標 道具の使い方を身につける。 (方針・具体的な取組) 指導員の教育や養成も共に行い、共に就労できる環境を目指していく。</p>		
	<p>令和7年度到達目標 利用者を増やし、業務に就ける人員を確保するとともに、作業効率向上を図る。 (方針・具体的な取組) 利用定員の中で、利用者の増員を図り、各作業の教育をし対応できるようにする。指導方法のブラッシュアップを行う。</p>		
	<p>令和8年度到達目標 作業効率向上を更に進め、相手企業様より、信頼してもらい作業が頂けるようにする。 (方針・具体的な取組) 作業事故を起こさないよう、徹底した教育を指導員に行う。利用者に普及・指導ができるように指導方法をブラッシュアップするとともに、働きやすい環境づくりにも努める。</p>		